

## 保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人あかつき会
施設名	幼保連携型認定こども園「阿星あかつき保育園」
報告者（役職）	（園長）森本 創
住所・連絡先	滋賀県湖南市石部南5丁目1-1
	☎ 0748-77-2950 E-mail morimoto@akatsuki-hoikuen.jp

### ○タイトル（保育計画）

夏を思い切り楽しもう、水遊び大好きあかつきっ子！

### ○主な助成備品

大型ユニットプール

## 1. 保育計画策定の目的

当園は、比較的若い世帯の多い住宅地内にあり、今後も当分の間は乳幼児の教育・保育ニーズが高まるものと考えられます。また、社会構造の変化によりますます多様化する利用者ニーズにも応えるため、昨年度園庭に新園舎を建設し、今年度からは認定こども園として定員も10名増加し120名としました。しかし、限られた工期や予算の中での建設であり、旧園庭に新園舎を建設したため、老朽化が著しい常設プールと遊具はすべて撤去することになり、新しい園庭にはプールをはじめ何も遊具がありません。そこで、助成金を活用し大型ユニットプールを購入させていただき、子どもたちにとって夏の一番の楽しみでもある水遊びを、思いっきりさせたいと考えました。特に当園では、心と体の発達保障を重要な教育・保育理念として掲げており、徹底的に「遊び込む」ことにより、人格形成の基礎となる集中力や持続力、体力や人との関係性を育む力の向上に取り組んでいます。一昨年より度重なる新型コロナウイルスの感染拡大によって、日常の教育・保育活動にも少なからず支障が出てきていますが、私たちは感染防止対策と創意工夫を行いながら、子どもたち健やかな成長を支えていきたいと考えています。

プール活動のねらい

- ① 大型ユニットプールを使って、夏を思い切り楽しむ。
- ② プールを使った水中での運動を通して、バランス感覚やさまざまな体の動かし方を身につけるとともに、基礎体力を向上させる。

- ③ プールを使った集団遊びを通し、ルールを守り友だちと協力する態度を身につける。



ステキなプールが園庭の隅に設置され、子どもたちはわくわくドキドキ。いよいよ夏本番です。

## 2. 具体的な実施内容

プール活動は、夏季の子どもたちの体力づくりにとって、欠かすことのできない活動です。特に、屋外での活動が常に熱中症のリスクを伴う中、水温や日照の調整さえすれば、リスクを軽減することができますし、何よりも子どもたちにとっては大きな楽しみのひとつです。また、水中で感じる特別の浮遊感覚は、楽しみながら自然と子どもたちのバランス感覚と筋力の向上に役立ちます。当園では、このようなプール活動をさらに充実させるため、プールの設置場所にはコンクリートで基礎を作り、人工芝を敷くとともに、日陰を作るためのワンタッチテントを二張購入しました。

新型コロナウイルスに関する文部科学省のガイドラインでも、水を介しての感染リスクはほとんどないものの、プールへの接触や密になることによる感染リスクが指摘されています。そこで当園では、プールの利用を3歳以上のクラス1日1クラス26名までとし、それを2グループに分けて交互にプール活動と休息をとるように計画し、水は毎日交換することにしました。また、子どもたちにはプールの水を口に入れない、友だちを押さない等の約束を決め、プール開きの時には、びわ湖から来てくれた水の女神様と固い約束をしました。職員に対しては、気温や水温、塩素濃度の管理等プールの利用マニュアルを徹底するとともに、事前に救命救急法の講習会を実施しました。

プール活動スケジュール

7/ 5(火)救命救急講習会

7/11(月)プール設置

7/12(火)プール開き

7/13(水)～8/31(水)プール活動 ※8/13～8/16はお盆休みのため中止

9/ 3(土)プール撤去



プール開きには  
びわ湖から水の  
女神様がやって  
来て、子どもた  
ちと大切な約束  
と一緒に体操を  
しました。

### 3. その成果と評価

いよいよ夏本番の7月12日、ホールで2.3歳児と4.5歳児の2回に分けてプール開きを開催しました。前日に職員たちでプールを組み立てていた様子を見て、子どもたちは待ちきれないように、「プールを作ってくれてありがとう」と職員に声をかけてきてくれました。例年は南の島からプール大臣がやって来てくれるのですが、今年は新型コロナウイルスの関係で、びわ湖に住むという水の女神様が来ることになりました。事前に届いた女神様からの手紙を子どもたちに読んで聞かせると、子どもたちのわくわく感は次第に高まって来ました。いよいよプール開きの日、厳かな雅楽の音色が流れる中、全身白装束の女神さまが登場。子どもたちの歓声や悲鳴が聞こえる中、小さな子どもたちの中には、怖くて保育者にしがみつく子もいました。しかし、女神様への質問コーナーと一緒にラーメン体操をする中で少しずつ慣れてきて、女神さまとプール使用時の約束をして、最後は安全祈願のお祓いをしていただきました。

さて、いよいよ翌日の7月13日から8月末までの予定でプール活動が始まります。今年も新型コロナウイルスの感染対策のため、1日1クラスずつで毎日水を入れ替えます。普段は散歩や冒険など園外での活動が大好きな子どもたちですが、夏季は特に熱中症のリスクが高く、屋外での活動は制限されることが多く、プール活動は子どもたちが楽しみながら思い切り体を動かすことのできる数少ない活動です。そのため、普段はお昼寝のない5歳児クラスの子もプール活動のある間だけは、給食後に短いお昼寝の時間を設定して体を休めています。ましてや3.4歳児は少しずつ体力がついてきたとはいえ、プール活動のある日は給食中にうとうとし始める子どもたちもいます。そして、ゆっくりと体を休めた後は手作りのおやつを食べ、降園までの時間を有意義に過ごすことができます。つまり、プール活動は子どもたちにとって、夏季の何よりの楽しみであるとともに、体力づくりや生活リズムを整える上で欠かすことのできない活動になっています。

### プール活動の意義

- ① 子どもたちはプール活動をととても楽しんでいましたが、1日1クラスに限定したため回数が限られていた。
- ② 子どもたちはプール活動の日を楽しみに日々の生活に見通しをもって過ごせた。
- ③ 特にプール活動を実施した日は午睡もスムーズにすることができ、生活にメリハリとリズムができた。
- ④ 秋の運動会に向けて、体力や運動能力が向上した。



梅雨が明けたのに今年雨の日が続き、ようやく待ちに待ったプール活動開始です。日よけテントも設置しました。



1日1クラスずつ、密にならないよう2グループに分けて、見学や水遊びで過ごすグループもあります。

### 4. 今後の課題と展望

年々夏の暑さが厳しくなる中、今年は新しいプールが園にやって来て、子どもたちはプール活動を思い切り楽しむことができました。そして、子どもたちはこれから秋の運動会に向けて、さまざまな運動やリズムに取り組めますが、そのための体力とチームワークの向上に、プール活動が大いに役立ったことは明らかです。しかし、新型コロナウイルスの感染予防のため、プール活動は1日1クラスに限定したため、4.5歳児は週に2回、3歳児は週に1回しか実施することができませんでした。それも、天候の悪い日は中止となるため、子どもたちがプール活動に取り組める回数は、ひと夏で数回から十数回と限られています。

一日も早く新型コロナウイルスが収束し、1日2クラスがプールを使用できるようになれば、もっともっと思い切りプール活動を楽しむことができます。一日も早くそんな日が来ることを切に願っています。

以上